

# NMRプラットフォーム

実施機関：理化学研究所、北海道大学、東北大学、東京大学、横浜市立大学、自然科学研究機構、大阪大学、広島大学  
 協力機関：株式会社JEOL RESONANCE、ブルカー・ジャパン株式会社、株式会社シゲミ、大陽日酸株式会社

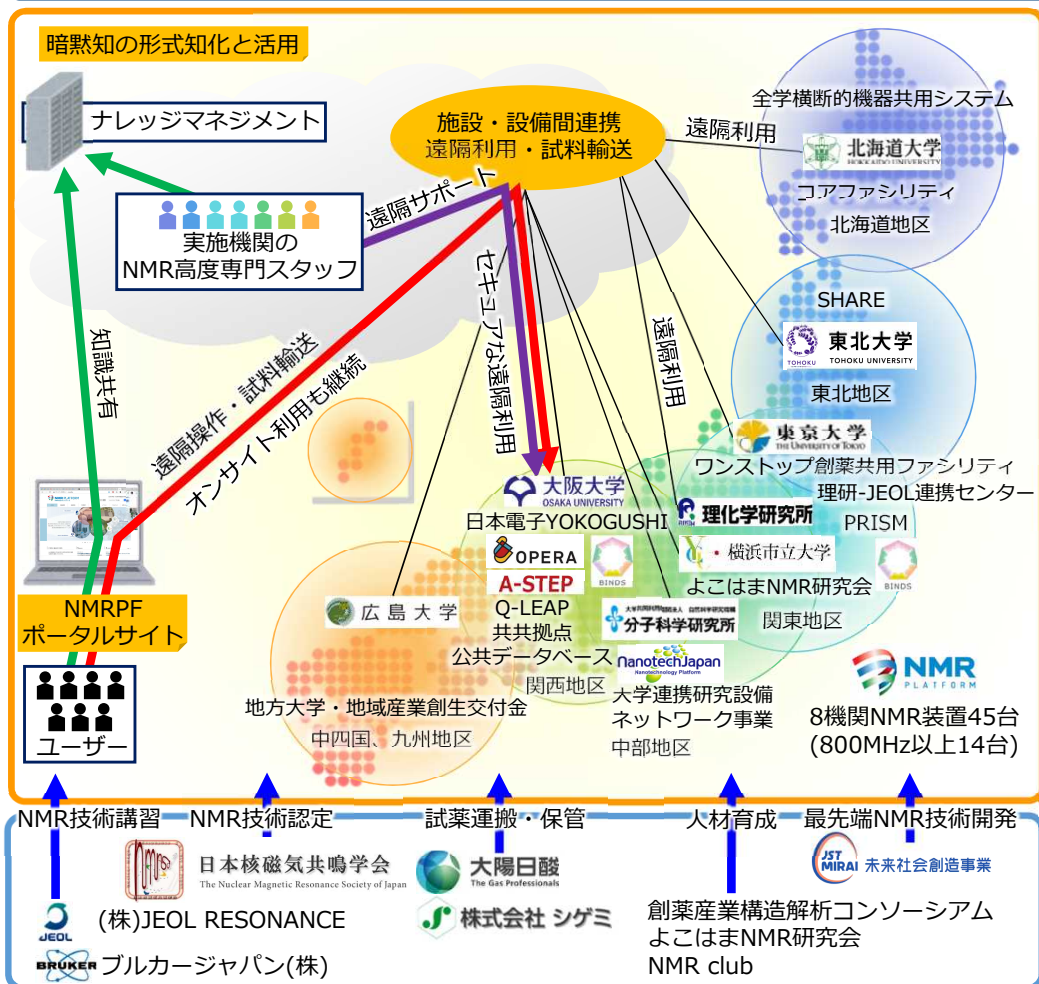
## これまでの取組と課題

- **NMR装置共用開始 H19～**  
 先端研究施設共用イノベーション創出事業 H19～  
 (理研・横浜市大・阪大(H22～))  
 先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業 H25～  
 (理研・横浜市大・阪大)  
 NMR共用プラットフォーム(第二期) H28～  
 (理研・横浜市大・阪大・北大)  
 AMED BINDS H29～  
 (横浜市大・阪大)
- **共用体制**  
 理化学研究所、横浜市立大学、大阪大学、北海道大学  
 日本電子(株)、ブルカー・ジャパン(株)と協力  
 ワンストップサービスの運営・支援体制の整備  
 運営委員会・諮問委員会の設置  
 課題選定委員会(外部有識者を含む)の設置  
 運営事務局の設置  
 JASIS出展の「共用プラットフォーム」全体の取り纏め
- **共用内容**  
 測定支援、試料作製支援、遠隔測定、人材育成
- **共用実績**  
 R2年度 利用件数 149件 共用NMR装置台数 30台  
 地震により被災したNMR装置を補う研究支援
- **アウトリーチ活動**  
 JASIS出展で広報活動(年1回)  
 講習会、セミナー、シンポジウム開催(R1年度20回)

**課題**  
 新たな時代に適した形式での**最先端装置・技術へのアクセスの実現**、災害・障害発生時の**リスク分散**・**相互補完体制の再構築**が課題として顕在化

**課題**  
 研究開発活動の競争力の維持・強化と、それを支える**人材の育成**

## 5年後の達成目標、達成されたときの姿



**事業終了後の運営**  
 共同・受託研究の増加、会員制・大口利用の制度整備、利用者コンソーシアムの形成により**安定した収入確保**

**施設・設備間連携の構築**  
 ● 事業運営ノウハウの共有により**新規4機関の利用促進**  
 ● 空きマシンタイムの有効活用、利用分野拡大、利便性向上が進み**運営自立化に貢献**

**形式知化の活用・人材育成**  
 本事業による人材高度化や各機関でのテニユアトラック制度等の人材制度整備も相まって、本事業で雇用する人材に対して**多様なキャリアパスを提供**

## 目標達成に向けた戦略

主な取組事項	R3	R4	R5	R6	R7
運営体制の構築	委員会・部会 事務局	運営委員会・諮問委員会・課題選定委員会	取組課題ごとの部会設置		
施設・設備間連携の構築	ポータルサイト(nmrpf.jp)	シニア研究員採用	随時更新		
	施設・設備間連携	拡充・機能強化	技術課題の精査・利用環境の立案	運用	PDCAサイクル
	情報セキュリティポリシー	アクセスポイント整備	統一基準の立案	実施機関間の調整	運用
	試料運搬	実施機関の調査	仕組み構築	試行	運用
暗黙知の形式知化と活用	ナレッジマネジメントシステム	システム・制度設計	試験運用		
	AI等活用した自動化	システム構築			
	教育プログラム	開発		試験運用	運用
人材育成活動	派遣研修制度	ICT教材整備	ポータルサイト更新	公開	
	コアファシリティ連携	試行	運用		
	NMR技術認定資格制度	人材制度設計	参加機関追加	人材育成コンソーシアム形成	
	政策連携・民活導入	制度設計		開始	
その他	コミュニティ連携	他の共用プログラム参加連携	産学官連携技術機器開発	産業界連携組織	
		国内コミュニティ		国際コミュニティ	